

連作絵本 想像という現実～5

心という現実

—何、考えてるの？—

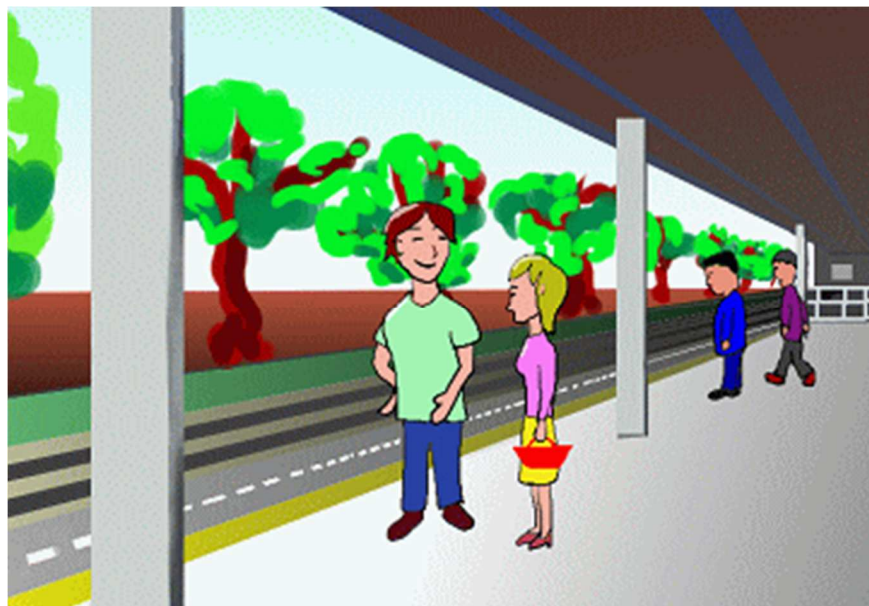


東郷 潤

駅のホームに男の人が立っています。 彼が何を考えているか、あなたにはお分かりになりますか？

—え？ 分からない？ ではどうすれば、彼の心の中という現実を知ることができるでしょう。

ちょっと考えてみていただけますか？



え？ 観察ですか？ …そうですね。彼の心を知るために、まず彼を観察してみましよう。よく見ると、

彼は笑っているようです。 …ではそれは何を意味するのでしょうか？

もちろん、あなたには、彼の笑顔の理由を直接、「見る」ことは出来ません。他の人の心の中は見えません。あなたに出来ることは、想像です。…それでは、彼の笑顔の理由を想像してみましょう。

●宝くじに当たって、嬉しくて笑っている。



●あなたを馬鹿にして笑っている。



●もうすぐ結婚式をあげる予定。



さあ、正解はどれでしょう？

え？ 分かるわけないだろって！？ …そうですね。 もちろん、あなたに正解は分かりません。 観察で分かったのは、彼が笑顔だということだけです。 ではどうすれば、彼の心の中を知ることが出来るのでしょうか？ …残念ながら観察で分かることは、もう無さそうです。
あと出来ることといたら… あ、そうだ！ 彼に直接、聞いてみましようか。



まあ、どの想像も間違っていたんですね！ …それじゃ、もう一度、伺います。下の絵の彼は何を笑っているのでしょうか？



彼は、会社で昇進したんだよ。
それで笑っていたんだろ？

…そうですか。では、もう少し見てみましょう。

しばらくすると、彼は一人になりました。



まあ、笑っていた彼の心の中には、苦悩があったのですね！ そうすると、彼の笑顔は演技。あなたへの答えは嘘。・・・そう、人は演技をし、嘘をつきます。

人は、他の人の心を直接、見ることは出来ません。できるのは、表情や言葉や行動など、表に出たほんのわずかな事柄に基づいた、想像だけ。そして、そのわずかな事柄に関して、人は演技し嘘をつきます。つまり、誰にとっても他の人の心の中は、暗闇の中を手探りで歩く以上に分からないものなのです。



**人々が互いの心を誤解／錯覚
しあうのは、当たり前です！**

ましてや、人が、表に出たほんのわずかな事柄に目を閉じてしまったら／愛を誤解していたら／おびえていたら／善悪中毒にかかっていたら／他人を分かろうという努力を放棄してしまったら…。



あとがき ー絵本「心という現実」

この絵本は、連作絵本「想像という現実」の5作目という位置づけで執筆したものです。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2010